

次期学習指導要領について

☆ 小学校 2020 年 (H32) ・ 中学校 2021 年 (H33) より全面実施

《改訂の基本的な考え方》

【背景】情報化・グローバル化など、急激な社会的変化

何ができるようになるか

- ・ 学びを人生に生かそうとする「学びに向かう力・人間性の涵養」
- ・ 生きて働く「知識・技能の習得」
- ・ 未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力の育成」

未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「**社会に開かれた教育課程**」の実現

〈各学校におけるカリキュラム・マネジメント〉

何を学ぶか

- ・ 新しい時代に必要となる教科、科目の新設、目標や内容の見直し

どのように学ぶか

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善

《改善・充実の方向性》 ※は課題

○ 道徳の教科化「特別の教科 道徳」

小学校は H30 年、中学校は H31 年より先行実施

※授業の質的変換と評価の在り方

○ 小学校 英語の教科化

5・6年生で英語（週2時間）3・4年で外国語活動を実施（週1時間）

※時数の確保と指導力の向上

○ プログラミング教育 情報化に対応

情報技術を手段として活用する力とプログラミング的思考の育成

※ICT環境の整備、教材の開発や教員研修の充実

○ 初等中等教育の一貫した学びの充実

小中の連携や小中一貫教育についての実践的検証

※実施に向けた環境整備

○ 子供たちの発達の支援

特別支援の障害に応じた指導、日本語の能力等に応じた指導の改善

学級経営や生徒指導、キャリア教育の充実

※関係機関等と連携した支援体制の確立、教員の資質向上